

# 2019 年度（令和元年度） 事業報告書

特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク

## 1 事業の成果

2019 年度も仲間づくりを活動の柱に、各事業に取り組んだ。

磯子区役所・磯子区社会福祉協議会との協働事業「いそご地域づくり塾」をはじめ南区の「寺子屋みなみ」、地域ケアプラザでの仲間づくり講座等、これまでの活動経験を生かし、受講者が主体的に学び合えるよう、楽しいプログラムを提供する機会を得た。地域に関心を持つことで、地域を知り、地域が好きになる。そんな循環を拓けていきたい。

毎月 1 回開催した次世代育成事業 子ども食堂「みんなのテーブル」では、昨年度の滝頭小学校に続き、今年度は根岸小学校の児童にもチラシを配布・周知した。この取り組みは、当日のボランティアをはじめ地域の協力により実施できている。NPO が主催する誰でも来れる食堂として、エリアを区切らず可能な限りドアを開けていきたい。

親と子のつどいの広場「夢ひろば」「夢たま」は来場者も増え、地域の信頼を積み重ねてきたと実感する。スタッフは感度を高くし、研修にも積極的に参加し、不安を抱える保護者に寄り添い対応した。利用者が地域でつながりを持てるよう、意識した場づくりもすすめた。

尚、2 月後半より新型コロナウイルス感染拡大防止により、「夢ひろば」「夢たま」の休止。コミュニティステーションに関わる事業の自粛、仲間づくり講座等も中止となった。まとめの季節に活動が停滞してしまいとても残念ではあるが、地域からの「次はいつ？」という声に応えられるよう、次年度に向けてしっかりと力をためたい。

今期に得た経験やつながりを基に、人と人をつなぐ仲間づくり、元気を生み出す場づくりを推進し、引き続き、誰もが夢をかなえて生き生きと暮らせる社会に寄与していく。

## 2 事業内容

### ◆特定非営利活動に係る事業

#### 1. 男女共同参画社会の中で夢を実現するためのサポートとコーディネート

##### (1) 地域交流拠点事業

地域の人が気軽に立ち寄れる交流スペース「夢まる」の運営。場を活用し、市民の社会参加を促進することで未病に取り組むとともに、地域に顔なじみの関係を増やすきっかけとした。

##### ① コミュニティステーションの運営

- ・内 容 スポーツセンターや商店街等と連携し健康体操や連続講座を行い、地域の人が集い、顔見知りの関係になる場をコーディネートした。
- ・時 期 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 市民 500 人
- ・支 出 額 1,183,147 円

## (2) 中間支援組織として取り組む事業

団体のもつコーディネート力やネットワーク・情報を活かし、地域の諸団体と連携してまちづくりに関わる事業に取り組んだ。

### ① 地域づくり事業（地域元気づくり連合会）

- ・内 容 支えあえる地域をめざし、地域の人や学校・商店街等と一緒に開催する地域交流イベントをコーディネートした。
- ・時 期 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 区内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民 350人
- ・支 出 額 82,218円

### ② 次世代育成事業 子ども食堂「みんなのテーブル」

- ・内 容 家庭の事情等で、十分に食事をとることができなかつたり、1人で食事をする子どもたちにカレーライスを提供した。誰でも参加でき一緒に食べることで、地域の大人が子どもたちを見守り、多世代が交流する機会となった。毎月1回（11回実施）
- ・時 期 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 地域の子ども・おとな計818名
- ・支 出 額 153,464円

### ③ 仲間づくり事業

- ・内 容 地域活動の担い手の発掘・育成を目的に、行政や自治会等と連携した講座を企画コーディネートした。
- ・時 期 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民、行政・施設職員 200名
- ・支 出 額 1,409,734円

## (3) 事務局事業

プロジェクトがスムーズに目的に向かって機能するよう、連絡調整や情報の取りまとめ等のマネジメントの役割を担った。

### ① 磯子区商店街連合会事務局

- ・内 容 区内15商店街・行政との連絡調整および区商連イベントのサポート
- ・時 期 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民 3000人
- ・支 出 額 447,149円

## ② 磯子区 NPO 連絡会事務局

- ・内 容 区内 NPO が連携し市民活動をより盛り上げていく連絡会の事務局
- ・時 期 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 市民 1000 人
- ・支 出 額 1,000 円

## 2. 学びあいとまちづくりに関する講座・研修等の企画運営

### (1) 仲間づくり講座の企画とコーディネート

#### ①講座ファシリテート

- ・内 容 行政や NPO 等から依頼されたテーマに対して、仲間づくりや地域づくりの専門性を活かし講師やファシリテーターとして事業に参画した。
- ・時 期 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 市民、行政・施設職員 500 人
- ・支 出 額 121,613 円

### (2) 若者応援

#### ①若者応援活動

- ・内 容 地域交流イベントへのボランティア体験をサポートするとともに、これまでの当事業参加者に対して、メール等での相談を行った。
- ・時 期 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 市民 10 名
- ・支 出 額 4,000 円

## 3. 学びあいとまちづくりに関する調査研究、情報収集及び提供

### (1) 地域連携事業

さまざまな地域課題に取り組む組織・団体と連携し、地域課題に対する理解を深め、地域の活性化や団体の事業推進に役立てた。

#### ① 地域ネットワーク活動

- ・内 容 地域課題に取り組む組織・団体と連携し、課題に対する情報共有を深め、解決に取り組んだ。主な連携先：区社協ボランティア部会、区子育て支援連絡会、はっちネット、市夢ファンクラブ部会等
- ・時 期 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
- ・場 所 市内
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 市民、NPO 関係者、専門家、行政職員 300 人
- ・支 出 額 17,162 円

## ② 初春学びの会

- ・内 容 学びあう仲間たちと新年を祝い、交流を深め、それぞれの活動促進と豊かなまちづくりへの連携の機会をもった。
- ・時 期 2020年1月8日
- ・場 所 夢まる
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 市民、NPO関係者、行政職員 40人
- ・支 出 額 25,320円

## (2) 地域啓発いそごキャラバン事業

だれもがいきいきと自分らしく暮らせる地域をめざし、外見だけではわかりにくい「発達障がい」をテーマに、「地域で取組む発達障がい理解啓発プロジェクト いそごキャラバン」の活動を通し、地域にわかりやすい福祉啓発活動を実施した。

## ① サポーター養成講座・虹色カフェ

- ・内 容 「サポーター養成講座」を開催（連続3回）。また、子どもの発達が気になる保護者のおしゃべり会を月1回開催（10回）した。
- ・時 期 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 区内 虹色カフェは夢ひろば
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 市民、施設職員 140人
- ・支 出 額 138,233円

## ② キャラバン出前講座

- ・内 容 小学校の授業で「感覚の違いを知ろう」出前講座実施。また旭南部地区での福祉研修会にて出前講座を実施した。
- ・時 期 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 区内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民 140人
- ・支 出 額 10,485円

## 4. 学びあいとまちづくりに関する会報及び出版物作成

### (1) 地域活動に関する情報発信

- ・内 容 ホームページおよびブログの更新。「かながわSDGsパートナー」に登録し、地域に根差したSDGsの取り組みを発信した。
- ・期 間 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 区内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 市民
- ・支 出 額 12,000円

## 5. 学びあいとまちづくりに関する講師の育成とコーディネート

## 6. 地域の中で子育てをサポートする事業

### (1) 親と子のつどいの広場「夢ひろば」の運営

- ・内 容 【開催日数 157 日、利用者数 4,245 人、一時預かり 197 人】  
横浜市補助事業である 親と子のつどいの広場「夢ひろば」の運営を通し、子育て中の親子が楽しく交流できる居場所をつくり、地域全体で子育てを応援する環境づくりの推進に取り組んだ。  
また、多様なニーズに応じ、一時預かりを実施。2月後半～3月末のコロナウイルス禍の中も、市の要望に応じて一時預かりは継続した。
- ・期 間 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 夢ひろば
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 子育て中の親子、地域の人
- ・支 出 額 7,218,535円

### (2) 親と子のつどいの広場「夢たま」の運営

- ・内 容 【開催日数 157 日、利用者数 2,455 人】  
子育て中の親子が安心して交流できるスペース「夢たま」の運営。  
ひろばの機能である、交流・相談・情報・講習会等に取り組みながら、地域や商店街と連携し、子育てを支える環境づくりを推進した。
- ・期 間 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・場 所 夢たま
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 子育て中の親子、地域の人
- ・支 出 額 5,413,612円 以上